

# 人生の目標

(株)インフォランス社長

佐々木雅士

大学生のある時に、「自分は何のためにこの世に存在しているのだろうか？」と漠然と考え始め、自分は何をもって世の中に貢献すべきかを本気で考えた。今すぐに、体を張って海外に飛んで行き、ボランティアをしようとも思ったが、人生全体から見れば小さな行いになってしまおうと思いつき、自分の趣味の延長で苦労だと思わず世の中のためになれるものはないだろうか？ と考えた。そして思い付いたことは会社経営だった。もともと『会社四季報』を朝から晩まで読んだり、新しいビジネスアイデアを考えたりするのが趣味だったので、会社経営なら苦にならずにでき、それで利益を上げられるだろうと思った。それで稼いだ収益を恵まれない環境にある人たちに還元していくという目標を持つことで自分の存在価値を見出すことができた。

六十歳になるまでに三〇億円で財団を作ろうと目標を立て、大学を出て、まずはサラリーマンになった。大変に楽しい仕事でついつい七年も続けてしまったが、人生の目標に達するために惜しみながら退職をして、自分の会社を立ち上げた。現在ではすでに四期目に入り、少しずつではあるが目標に向かって成長を続けている。

多くの経営者と交流する機会が多いが、ほとんどの方の目標は将来の自分のための目標であることが多い。私はこう思う。「自分のための目標には誘惑が多くて、それを乗り越えるにはかなりの努力が要るのでは」と。もし自分のために頑張っているだけなら、年収が一億になった時に、「もうこの辺でいいか」と思いやしないかと不安になる。しかし、他人のために頑張っていれば、年収がたとえ一億になったとしても走り続けることを止められないだろう。

人生の目標というのは、自分のためではなく、他人のために立てることが大切だと思う。